

花美蔵通信 Vol. 9

はなみくらつうしん

白扇酒造株式会社

事業本部 〒505-0303 岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志208-3
 蔵元 〒509-0304 岐阜県加茂郡川辺町中川辺28番地
 URL <http://www.hakusenshuzou.jp/>
 E-mail info@hakusenshuzou.jp

本格的な夏を前に木々の緑が色濃くなって参りました。皆様いかがお過ごしでしょうか？今回のテーマは「人生にと「れだ」けの人に会いがあるでしょう」です。皆様それぞれにある大切なご縁をより深いものにしていただきたいとの願いを込めて今年もたくさんのお酒として生酒・低温貯蔵酒に挑戦しました。便利と引きかえに人の繋がりが希薄になられた様に感じる昨今贈り物という文化を見直してみませんか？（生酒はダイレクトメール限定商品です）

アメブロやってます！
<http://ameblo.jp/hanamikura/>



花美蔵子が行く！ 突撃レポート in 酒買いの儀式

毎年4月第2日曜に行われるこの地の氏神・太部古天神社のちょっと変わった神事を見に行ってきました！
 天神様の使者である沛王が獅子を伴い白扇酒造に御神酒を買いに行くという「酒買いの儀式」です。
 何がちょっと変わってるかと言うと……すべてパントマイムで行われるんです。

ここに十二文（寛永通宝）ある。この三升徳利にお酒をいっぱい入れてくれ。

はい、かしこまりました。ひい、ふう、みい…おや？

一文足りないでお酒はお売りができません。

そんなはずはない。もう一度勘定してくれ。

さようですか。ではもう一度。ひい、ふう、みい…

ああ、ございました。それではおはかりしましょう。

社長がお酒を入れてます。

どうぞ。たっぷりとお入れしました。

沛王が徳利に指を入れてちゃんと入っているか確認しています。

うん?!これはまだ八分目までしか入っておらんではないか。もっと口元まで入れろ。

社長はもう一度、お酒を入れてます。

さあ、全部お入れしました。これならよろしゅうございましょう。どうぞ天神様に。

沛王はもう一度指を入れ確認しています。ちゃんと指が濡れるほど入っていたようです。

沛王は外に出て社長と挨拶をしているようです。お酒を掲げると獅子がもらいに走ってきました。

これで儀式は終了したようです。沛王と獅子は太部古天神社に帰っていきました。太部古天神社を覗きに行く…ちゃんと沛王が買った御神酒がありました。

早期6時頃から始まりますが、このちょっと変わった神事に興味のある方は来年ぜひ見に来て下さい。

私も眠目をこすりながらお会いできるのを待っています。

白扇酒造蔵元

中川辺駅、古神駅、美濃川、東海旅客自動車鉄道